

「ドーピング」はアスリートだけの問題だと思いませんか？



ドーピングのルールには、競技力を上げるための間違った薬の使い方を防ぐだけでなく私たちの「大切な身体を守る」という大事な目的もあります。

注意したいのは、風邪薬や漢方薬、塗り薬など、普段体を治すために使っている薬の中にもスポーツにおいては禁止されている成分が含まれていることがある点です。また、ドーピング検査はオリンピックや国民スポーツ大会といった大きな大会だけでなく大会の規模に関わらず行われる可能性があります。

週末に市民マラソンを楽しむ方や、部活動に励むお子さんを持つご家族など、意図せず摂取してしまう「うっかりドーピング」は誰にでも起こり得る落とし穴です。

こうした事態を防ぐ心強い味方が、最新の知識を持つ「公認スポーツファーマシスト」という薬剤師です。「この風邪薬、週末の大会で飲んでも大丈夫？」といった質問に回答することで安心して競技に臨むことができた事例もありました。お薬での悩み事がありましたらぜひお近くの薬局の薬剤師へ、いつでも気軽にご相談ください。